

『農業』年間総目次

—令和6（2024）年1～12月，臨時増刊号—

巻頭言

- 年頭に当たって 吉田 岳志…1月
猛暑の中から 栗田幸太郎…2月
イネゲノム完全解説の意義 三輪睿太郎…3月
3,000年続く技術 馬場 正…4月
よそ者が農業を変える 合瀬 宏毅…5月
魅力ある農業大学校を目指して 大杉 立…6月
梅雨空に思う 吉田 岳志…7月
野生動物とのあつれきをいかに回避するか？ 林 良博…8月
GREEN EXPO 2027の役割・花から農へ 進士五十八…9月
会誌『農業』の歴史に思う 菱沼 義久…10月
BSC工法による国土の強靱化への取り組み 江口 文陽…11月
消費者に選ばれる農業者に 香山 勇一…12月

論 壇

- 少子化と農業 夏秋 啓子…1月
健康を維持するためのセルフケア食 山本（前田）万里…2月
コメの可能性を徹底的かつ戦略的に 三石 誠司…3月
温暖化に対する日本農業の適応 堀江 武…4月
おいしい機能性表示食品 宮田 恵…5月
生消連携を地域に 安倍 澄子…6月
訪日観光客と日本食 春見 隆文…7月
直接支払制度の充実・拡大

- 柴田 正貴…8月
農業と環境，持続可能性ということ 長谷部 亮…9月
被災地の農業復興に思う 角田 豊…10月
脱炭素社会が導く新しい豊かさの創造 武内 和彦…11月
アジアにおけるアグロエコロジーの挑戦 宮浦 理恵…12月

総裁現地視察

- 総裁秋篠宮皇嗣殿下 石川県の令和6年能登半島地震被災農家をご訪問 吉田 岳志…6月

中央農事講演会

- 近未来の農業・農村を考える—現場の挑戦に学びながら— 生源寺眞一…5月
健康食品のエビデンスを考える 唐木 英明…10月

農業懇話会

- 農村政策としての集落排水事業のこれまでとこれから 仲家 修一…4月
「やさいバス」が目指す農業の流通改革と農を軸とした地域コミュニティの強化 加藤百合子…6月
畜産業の成長と家畜感染症との闘い—畜産業の未来にエールを送る— 熊谷 法夫…7月
農作業事故の現状と農作業安全対策をめぐる動向 氣多 正…8月
化学農薬に依存しない害虫被害ゼロ農業の実現—先端的な物理手法と未利用の生物機能を駆使して— 日本 典秀…9月

令和5年度「食料・農業・農村白書」について
植杉 紀子…11月

地域セミナー

栃木：食料安全保障と日本農業の責務
—21世紀は地球規模の食料逼迫の時代—
盛田 清秀…6月
秋田：不確実性の時代を生き抜く雇用型経営
最高の人生を目指した仕事を—後悔しない
働き方—
井上隆太郎…7月

表彰事業関係

令和5年度第107回農事功績者表彰式 …1月
大日本農会北米・南加支会第107回大日本農
会農事功績者表彰伝達式……………1月

農事功績者座談会

トレンドに合った多品目の商品開発と周年出
荷体系の確立で高品質花き大規模経営を実
現
山下 徳弥・笑子…1月
有機ウメ栽培を核とした大規模果樹経営
鶴田 和恵…2月
夢のある地域農業への挑戦、農事組合法人多
良木のびるとともに深水
吉人・良子…3月
ナス・キュウリの輪作体系の確立と企業的経
営の実現
中筋 博行…4月
トンネルシステムとIoTによる有機マッシュ
ルームの大規模生産と6次産業化による廃
棄物ゼロの取り組み
長澤 光芳…12月

表彰農家訪問

水稲作業の効率化・スマート化と園芸品目の
導入により実現した高収益大規模水田経営
—青森県青森市に飯塚久雄さんを訪ねて—
小巻 克巳…2月
独自の徹底したシステム化の基に水稲・ネギ
専作経営を構築—北海道檜山郡厚沢部町に
木村農産・木村秀喜さんを訪ねて—
八巻 正…3月
独自に開発した吊り下げ式移動ベンチ等の新

たな技術の導入による促成イチゴの高収益
専作経営の確立—愛知県豊橋市賀茂町に促
成イチゴ専作農家水谷一江さんを訪ねて—
望月 龍也…5月

夫婦の信頼と尊重により築き上げた、3人の
子どもたちが後継するプロイラー・花苗複
合経営—佐賀県伊万里市に（株）百姓屋・
市丸初美さんを訪ねて—

納口るり子…10月
和牛繁殖経営の放牧への転換—宮崎県西臼杵
郡日之影町に岩田篤徳さんを訪ねて—

本郷 秀毅…11月
環境保全型病虫害制御と地域資源の循環利用
によるハウスアスパラガスの高品質・高収
益専作経営—長崎県壱岐市郷ノ浦町に許斐
誠仁さんを訪ねて—
望月 龍也…12月

食を楽しむ

土から細胞までを科学する管理栄養士
金高 有里…1月
ミニトマトと宮澤賢治
澤口たまみ…2月
農家とパティシエをつなぎたい
金子 博文…3月
創造力と食育
吉川 雅子…4月
赤ん坊のように大切に育てられたもやし
向笠千恵子…5月
味の記憶
竹内早希子…6月
各地のソウルフードと合わせて日本ワインを
味わう
天越 千愁…7月
大地の一部 水の一部
黒田未来雄…8月
フルーツカッティングはエコの応援団
新谷 睦子…9月
土地がつくる食
真田 純子…10月
野菜を伝えることは食べるきっかけをつくる
こと
牧野 悦子…11月
心の栄養まんてんじゃ！
高橋久美子…12月

研究の最前線

現代=再帰的近代における食育の研究
—日本、欧州、東アジアを駆ける—
上田 遙…1月

養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生動向と対策—最近流行しているウイルスの正体— 常國 良太…2月

高純度の砂糖を生産する「砂糖イネ」の開発—第三の製糖作物を目指して—

笠原竜四郎…3月

東日本大震災は被災地の植生にどのような影響をもたらしたか—人工衛星データによるアプローチ— 成澤 朋紀…4月

酵素法による果実類の剥皮加工技術の開発とその応用 尾崎 嘉彦…5月

赤色ネットでネギやキャベツの難防除害虫ネギアザミウマを防除 徳丸 晋虫…6月

果樹の低温積算時間表示システムの開発

杉浦 裕義…7月

最新の研究から見えてきたツキノワグマの姿—出没を繰り返さないためにできることは?— 小池 伸介…8月

豚熱の発生動向と対策—現在わが国において流行している豚熱ウイルスの性状—

深井 克彦…9月

アーバスキュラー菌根菌資材は作物栽培において有益なのか? 神山 拓也…10月

イベントアトリビューションの最前線—2023年の記録的な高温および大雨を例に—

高橋 千陽…11月

寒締めによる菜っ葉の品質向上技術—見えてきた新しい普及の問題点—

小沢 聖…12月

農業・農村の現場から

自分と和牛と地域—一定体型ヘルパーによる人材育成と地域貢献— 飯盛 将太…1月

資源循環型養豚システムと人材育成—熊本県・セブンフーズの取り組み—

前田佳良子…2月

地産地消とオーガニック給食をまちづくりに生かす取り組み—愛媛県今治市—

安井 孝…3月

住宅街の中の畑と庭先直売—高齢化する都市の食料品アクセス— 佐藤 忠恭…4月

JRフルーツパーク仙台あらはまにおける震災復興の歩みと省力栽培を軸とした観光農園への挑戦 菊地 秀喜…5月

周年栽培と実需者ニーズへの対応で高収益を上げるコチヨウラン生産—滋賀県東近江市有限会社花匠の取り組み—

藤原 太羅…6月

地方・農村部における農作物などの盗難被害とその対策の現状と課題

鈴木 あい…7月

岩手県におけるツキノワグマ被害の現状と対策について 山内 貴義…8月

独自の農法の確立や6次産業化による100年続く農園のさらなる挑戦—茨城県銚田市

深作農園の取り組み— 深作 勝己…9月

自給飼料活用による肥育牛生産技術の検討 荒木ひかり…10月

2023年産新潟米の1等級比率低下要因と今後の対応 樋口 泰浩…11月

集落営農法人を自治会から企業に変える

「グリーン法人中野」の取り組み

和田 梢…12月

世界の農業は今

フランスのアグリ・フードテックを支えるエコシステムと日本との連携

後藤 一寿…1月

環境にかたむくEU離脱後の英国（イングランド）農政 和泉 真理…2月

ASEAN地域の大学と連携した食品分析講座の実習を担当して 滝沢 潤…3月

品種保護をめぐる世界の動き—新しい時代のUPOVの電子出願ツールと国際協力—

長野 暁子…4月

フードスケープ 建築から食の風景を再考するイタリアの事例を通して

正田 智樹…5月

多様でしたたかな米国農業—40年の現地取材を振り返る— 山田 優…6月

果物輸出大国チリの歩み—約半世紀にわたる成長の軌跡と持続的成長への可能性—

村瀬 幸代…7月
命がけの追い払い—タンザニアのアフリカゾ
ウ獣害対策— 岩井 雪乃…8月
パレスチナにおける農業とオリーブ産業の育
成 柏木 健一…9月
ハラールとは、ハラール認証とは—イスラム
食品市場への輸出・進出事例とともに—
上嶋 友也…10月
COP28の成果と課題—エネルギー、農業・
食料を中心に— 久保田 泉…11月
世界のキノコ生産の動向と課題
吉井 薫…12月

私の経営と志

栃木県足利市でイチゴ栽培—台風被害による
イチゴハウス全壊を乗り越えて—
嶋田 有希…1月
鹿児島県霧島市で野菜・水稲栽培—農業・食
を通してたくさんの「笑顔」を作りたい—
谷口 翔平…2月
北海道・音更町で畑作経営—地域を守る持続
可能な農業— 長澤 省吾…3月
三重県鈴鹿市で水稲・小麦・大豆栽培—おむ
すびを通じて日本食を世界に広めたい—
西村 直也…4月
栃木県宇都宮市で水稲・小麦・大豆栽培
—今までにないスマート農業を目指す—
安納康太郎…5月
愛知県新城市作手地域で施設トマト栽培—工
業高校卒が始める農業—
梅津 光陽…6月
福井県坂井市で白ネギ栽培—私の農業の見
方— 内江 元泰…7月
新潟県十日町市でホップ・水稲作経営—伝統
と革新をつなぐ農業経営—
山家 悠平…8月
愛媛県愛南町で次世代につながるカンキツ栽培
を目指す—全てのご縁を大切に—
松田 拓也…9月
北海道小平町で水稲・小麦・大豆栽培—自分
のスタイルで地域農業を盛り上げたい—

山崎 未鈴…10月
福井県南越前町で生花・ドライフラワー生産・
販売—「ご近所農園」として生きていく—
野村 直樹…11月
兵庫県宍粟市で野菜・水稲・農産加工の複合
経営—過疎地域でも農産物の直売を持続さ
せたい— 藤木 茂暁…12月

農家の気持ち

郡山ブランド野菜の取り組み
鈴木 光一…1月
これからの人生は「地域と師匠への恩返し」
菅野 千秋…2月
農業を始めて9年目の振り返り
三浦 綾佳…3月
芋と家族と農業経営 中瀬 健二…4月
梅で人と人をつなぐ 山口 由美…5月
テロワールまで、あと半歩 藤田 春恵…6月
旬をつかまえたくて 福島 紗織…7月
肉牛農家&児童書作家として
堀米 薫…8月
私たちに託してほしい 佐藤 梨紗…9月
魅力ある仕事としての農業を目指して
岸本 一朗…10月
未来に残したい田園風景 長橋 努…11月
古参品種ブルーベリー・カシスが紡いでくれ
た縁と未来 ハウレット・ハヌル…12月

東京農業大学収穫祭から

意外とすごい?!キャンパスデザイン
ランドスケープデザイン・情報学研究室
……………2月
熱帯作物学研究室が担うもの
国際農業開発学科熱帯作物学研究室
……………3月
ミツバチの世界への小さな扉
ミツバチ研究会…4月
竹筋を用いた海水練りコンクリートの可能性
地域環境科学部生産環境工学科社会基盤工
学研究室……………8月

農業関係予算情報

「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」
の実現に向けた予算

大日本農会企画部…2月

統計情報

2023（令和5）年果樹および茶栽培面積（7月15日現在）……………1月
2022（令和4年）農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）……………2月
2023（令和5）年産春植えバレイショの作付面積、収穫量および出荷量……………4月
2023（令和5）年大豆（乾燥子実）の収穫量……………6月
2023（令和5）年産リングの結果樹面積、収穫量および出荷量……………11月

その他

令和5年度大日本農会賞の受賞者……………4月
第62回全国青年農業者会議プロジェクト発表・農業青年の意見発表等受賞者……………4月
「令和5年度飼料用米多収日本一」受賞者……………4月
令和5年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会の受賞者について……………5月
大日本農会前副会長・西郷正道氏を悼む……………7月
農政情報……………1～12月
大日本農会だより……………1～12月

編集部から……………1～12月

表紙写真説明

クヌギとため池（国東半島宇佐地域）…1月
大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法（埼玉県武蔵野地域）……………2月
但馬牛の放牧風景（兵庫県美方郡香美町村岡区）……………3月
「東稲山麓地域」の風景（岩手県奥州市前沢生母地区）……………4月
川霧の中の紅花摘み（山形県最上川流域）……………5月
首都近郊に息づく天水利用の農業システム（埼玉県比企丘陵地域）……………6月
雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム（新潟県中越地域：長岡市、小千谷市）…7月
丹波篠山地域の黒大豆栽培（丹波篠山市）……………8月
たまねぎ小屋と水稲（兵庫県南あわじ市）……………9月
下津蔵出しみかんシステム（和歌山県海南市下津地域）……………10月
蘭島の風景（和歌山県有田川町清水地域）……………11月
みかん栽培の礎を築いた有田みかん産地（和歌山県有田地域）……………12月

臨時増刊号

令和6年度農事功績表彰者の紹介……………12月